

小金井市史編さんのまとめ（総括）構成案

- 1 市史編さん事業を終えて
市史編さん委員会委員長ご挨拶
- 2 市史編さん事業の経過
会議記録 市報掲載記事（市史編さん事業の市民への周知）
編集方針、年次計画の変更の経過も含む
市史編纂記念講演会等チラシ
- 3 総括
各部会の総括と今後の課題
- 4 刊行物について
資料編（小金井桜・近代・近世・現代・考古）
通史編
各冊子ごとの解説、主な写真入り
- 5 関連規則等（市史編さん委員会条例 市史編さん大綱 執筆要綱 内規等）
- 6 市史編さん関係者名簿

小金井市史関連刊行物計画概要

1 趣旨

『小金井市史』の「通史編」及び5冊の「資料編」を基礎資料としながら、市史編さん事業の蓄積を市史編さん活動又は文化財保護事業へと継承し歴史資料や文化財の活用を図る。市史編さん事業で調査・研究してきた成果を刊行物等に纏め発刊し、学校教育や生涯学習に役立てるとともに、市民の郷土に対する理解と愛情を深める。

2 刊行物候補

全 体：年表、索引、ダイジェスト版、子ども市史、歴史マップ、PDF

原始分野：遺跡

古代分野：遺跡

中世分野：石造物、遺跡

近世分野：石造物、絵図、古文書筆写、小金井桜、遺跡

近代分野：文化人・偉人、石造物、絵図、小金井桜、

現代分野：文化人・偉人、地図、戦争資料、小金井桜

3 刊行計画案

令和2年度を初年度とし、刊行物の編集を進め順次発刊を行う。

(1) 前半：令和2年度～令和6年度

年表、索引、ダイジェスト版、小・中学校PDF配布

原始～中世分野、近世分野

(2) 後半：令和7年度～令和11年度

子ども市史

原始～中世分野、近代分野、現代分野

小金井市史編さん活動 市民協力員調査項目一覧

【閑野協力員】 調査項目一覧(過去分)

| 石造物の所在 | 住所 | 石造物 (多数所在の場合、一部省略) |
|------------|----------|-----------------------------------|
| 閑野八幡神社 | 閑野町1-5 | 狛犬、石灯籠、手水石、青面金剛庚申塔等 |
| 個人宅 | 閑野町1-10 | 石祠 |
| 真蔵院 | 閑野町2-8 | 廻国供養塔、閑家墓碑等 |
| 長昌寺 | 梶野町2 | 石灯籠、文学碑、観音像、六地藏、建設記念碑、水子地藏、句碑等 |
| 個人宅 | 梶野町3 | 尾州家鷹場御定杭 |
| 市杵嶋神社 | 梶野町4 | 手水石、石灯籠、狛犬、記念石、百度石等 |
| 路傍 | 梶野町4-11 | 仙川敷地内 馬頭観音 |
| 路傍 | 梶野町4-19 | 市杵嶋神社入り口 庚申塔 |
| 下染谷稲荷神社 | 梶野町5 | 燈籠、狐像、手水石等 |
| 個人宅敷地内 | 桜町2-7 | 石祠 |
| 是政稲荷 | 桜町3 | 手水石、狐像、燈籠、踏石等 |
| 江戸東京たてももの園 | 桜町3 | 石灯籠、庚申塔、廻国供養塔、馬頭観音、江御勉強、仮寓所等 |
| 小金井公園 | 桜町3 | 小金井緑地碑 |
| 個人宅 | 貫井北町3 | 庚申塔、廻国供養塔、出羽三山碑 |
| 学芸大学 | 貫井北町4 | 記念碑(けやきの碑) |
| 路傍 | 貫井北町5-20 | 庚申塔、筆子塚、石鳥居、三界萬霊塔等 |
| 千手院 | 貫井南町1 | 筆子塚、三界萬霊塔、地藏等 |
| 大澤神社 | 貫井南町2 | 石碑、狛犬、手水石、燈籠等 |
| 下弁天横 | 貫井南町2 | 記念碑(下弁天子供広場) |
| 下弁天 | 貫井南町2 | 記念碑、鳥居 |
| 滄浪泉園 | 貫井南町3 | 庚申塔、地藏、廻国供養塔馬頭観音、石灯籠、三宅島友好記念碑等 |
| 真明寺 | 貫井南町3 | 燈籠、供養塔、地藏、記念碑(由来碑)等 |
| 貫井神社 | 貫井南町3 | 石橋供養塔、燈籠、庚申塔、句碑、不動、記念碑(プール)等 |
| 貫井共同墓地 | 貫井南町4 | 地藏、六地藏、馬頭観音、念仏供養塔、宝篋印塔等 |
| 路傍 | 貫井南町4-11 | 庚申塔(絶三戸罪) |
| 路傍 | 貫井南町4-16 | 庚申塔 |
| 路傍 | 貫井南町4-26 | 地藏 |
| 路傍 | 貫井南町4-16 | 庚申塔 |
| 稲荷祠内 | 貫井南町4-16 | 宝塔 |
| 第一小学校 | 本町1 | 頌徳碑(永井)、頌徳碑(本木)、国旗掲揚塔等 |
| 五叉路 | 本町1-7 | 六地藏、地藏 |
| 三光院 | 本町3 | 記念碑(山岡)、記念碑(鉄舟)、箸塚、標石、石仏等 |
| 大松木下之稲荷 | 本町3-8 | 庚申塔、石灯籠、石祠、石鳥居等 |
| 路傍 | 本町5-31 | 境界石陸軍 |
| 堂内 | 本町5-40 | 大日如来 |
| 山王稲穂神社 | 本町5 | 記念碑(鳥居)、狛犬、燈籠、百度石、記念碑(駅)、記念碑(忠魂)等 |
| 市役所本庁舎 | 本町6 | 慰霊碑 |
| 路傍 | 中町2-11 | 記念碑 |
| 八重垣稲荷 | 中町3-14 | 稲荷祠 |
| 小金井神社 | 中町4-7 | 鳥居、力石、石橋供養塔、狛犬、供養塔 |
| 鴨下閑家墓地 | 中町4-11 | 庚申塔、地藏等 |
| 西念寺 | 中町4-11 | 記念碑 |
| 金蔵院 | 中町4-13 | 百番供養塔、石灯籠、廻国供養塔、鶏供養塔等 |
| 星野墓地 | 中町4-13 | 墓誌、石灯籠 |
| 大久保家墓地 | 中町4-15 | 石灯籠、地藏 |
| 瑞蓮寺 | 前原町3-36 | 寺号標石 |
| 路傍 | 前原町3-1 | 記念碑(金井原) |
| 神明宮 | 前原町3 | 幟立石、石鳥居、手水石、石灯籠(稲荷)、石橋供養塔、狛犬等 |
| 橋場下墓地 | 前原町5 | 庚申塔、地藏、廻国供養塔 |
| 笠森稲荷 | 東町1 | 燈籠、記念碑、奉納額、忠魂碑 |
| 路傍 | 東町1-44 | 文字庚申塔 |
| 天神社 | 東町2 | 庚申塔、石橋供養塔、狛犬、燈籠等 |
| 太陽寺 | 東町3 | 六地藏、地藏、頌徳碑等 |

| | | |
|--------|--------|-------------|
| マロンホール | 東町3 | 東小金井駅開設記念碑 |
| 路傍 | 東町4-38 | 馬頭観音 |
| 路傍 | 東町5-6 | 馬頭観音 |
| 路傍 | 緑町1-1 | 青面金剛、廻国供養塔 |
| 大嶽神社 | 緑町1 | 鳥居(大嶽神社) |
| 路傍 | 緑町1-3 | 地藏 |
| 公園内 | 緑町2 | 児童遊園碑 |
| 浴恩館公園 | 緑町3 | 歌碑、句碑 |
| 山の神 | 緑町3 | 鳥居、手水石(山の神) |
| 玉川上水 | 緑町3 | 記念碑(玉川上水) |
| 緑墓地 | 緑町4-5 | 地藏(6面)緑墓地内 |

【畑野協力員】 調査項目一覧(過去分)

| 西暦 | 和暦 | 分類 | 調査内容 |
|------|-------------|-----------------------|--------------------------|
| 1887 | 明治20年～昭和20年 | 年表 | 明治20年～昭和20年 |
| 1909 | 明治42～昭和47年 | 駅 | 武蔵小金井駅 |
| 1939 | 昭和14年 | 会社 | 大島商店・大島茂七(実業家) |
| 1899 | 明治32年～ | | 浅田銀行 |
| 1868 | 明治初年 | 家屋 | 明治期民家一覧表 |
| 1867 | 幕末～明治25年 | 教育 | 学校変遷図 |
| 1867 | 幕末～明治20年 | | 教育史年表 |
| 1891 | 明治24年 | | 私立簡易徳積学校入校者名簿 |
| 1928 | 昭和3年 | | 東京高等蚕糸学校土地買収一覧 |
| 1930 | 昭和5～ | | 松平実科女学校・拓殖学校・モーリ農園 |
| 1879 | 明治12年～ | | 軍事 |
| 1939 | 昭和14年～ | 稲徳神社忠魂碑(戦没者)調査 | |
| 1934 | 昭和9年 | 郡国防協会小金井支会趣意書(比留間家文書) | |
| 1937 | 昭和12年～ | 出征軍人歓送の件(星野雅信家)文書一覧 | |
| 1942 | 昭和17～20年 | 真陵墓地の戦死者名調査 | |
| 1931 | 昭和6年～ | 忠魂碑等にみる戦死者名 | |
| 1926 | 昭和初年 | 町内在住職業軍人名 | |
| 1932 | 昭和7～20年 | 徴兵関係(昭和7年～20年)・動員日誌から | |
| 1873 | 明治6～16年 | 徴兵令・西南の役関係 | |
| 1939 | 昭和14年 | 富岡英二、軍事郵便25点(星野家文書) | |
| 1899 | 明治32～45年 | 日露戦争関係(年表・動員日誌・忠魂碑) | |
| 1939 | 昭和14年 | 満州駐屯軍慰問団(平井武茂日記) | |
| 1883 | 明治16～27年 | 交通 | |
| 1900 | 明治33年～ | | 多摩鉄道のあゆみ(年表)・創立者阿部好貞 |
| 1868 | 明治初年 | 戸籍 | 幕末～明治初年の人別帳・戸籍簿から |
| 1939 | 昭和14年 | 財政 | 昭和14年部落費(消防費)拠出額一覧表 |
| 1945 | 昭和20年 | | 昭和20年度南関野町会収支予算書 |
| 1866 | 慶応2～昭和50年 | 産業 | 栗 |
| 1926 | 昭和1～28年 | | 浅野屋(料理屋・芝内太郎衛門) |
| 1932 | 昭和8年 | | 園芸:尾崎哲之助と朝顔園 |
| 1912 | 明治末年～ | | カレー製造:高橋商店(テーオー食品) |
| | 明治37年～ | | 木下浅吉・木下醸造研究所 |
| 1921 | 大正10～平成12年 | | 帝国ミシン(株) |
| 1922 | 大正11～昭和63年 | | 大東電気(株) |
| 1931 | 昭和6～16年 | | (株)日本精機工作所 |
| 1936 | 大正15年～ | | 金月・魚仙 |
| 1926 | 昭和元年～ | | 小金井家(蕎麦屋) |
| 1940 | 昭和15年頃 | | 小金井町料理飲食業組合名簿 |
| 1886 | 明治19年～ | | 小金井村の製糸業(明治19年～昭和19年)の変遷 |
| 1935 | 昭和10年～ | | 小林捨次郎商店・小金井製作所のあゆみ |
| 1930 | 昭和5～28年 | | 鈴屋(菓子屋・安東祐吉) |
| 1927 | 昭和2年 | | 中央工業(株)南部工場(銃器製造) |
| 1933 | 昭和8年～ | | 統計資料等にみる小金井の工場一覧 |

| | | | |
|------|-------------|-----|----------------------------|
| 1911 | 明治・大正 | | 東部地域の養蚕団体 |
| 1941 | 昭和16年 | | 東部農事実行組合(島田家文書763) |
| 1930 | 昭和5～28年 | | 鳥国(肉屋・真野国茂) |
| 1934 | 大正末年～ | | 日本カaramel・昭和商事・大東醸造 |
| 1929 | 昭和4～34年 | 産業 | パン(小沢パン・浦和パン・団栗パン) |
| 1938 | 昭和13年 | | 養兔 |
| 1916 | 大正5～昭和5年 | | 養蚕業の推移 |
| 1940 | 昭和15年～ | | 横河電機製作所小金井工場のあゆみ |
| 1888 | 昭和21年 | 施設 | 池田別荘(南梶野38) |
| 1879 | 明治12年～ | | 火葬場・埋葬地・隔離病舎調査 |
| 1926 | 大正15年 | | 小坂別荘(中町1-14-42) |
| 1941 | 昭和16年 | | 国民練成所 |
| 1605 | 慶長10～昭和52年 | | 貫井村閻魔堂 |
| 1940 | 昭和15年 | | 前田友吉・前田別荘(中町1-15-10) |
| 1934 | 昭和9～平成8年 | | 三光院・山岡家・全生庵・西野奈良栄 |
| 1891 | 明治24年～昭和29年 | 宗教 | 基督教会:小金井講義所 |
| 1915 | 大正4年 | | 大正御大典記念社殿改築寄進者一覧 |
| 1926 | 昭和初期 | 商店街 | 小金井町文化地図広告一覧表 |
| 1932 | 昭和7年 | | 昭和7年小金井村全図広告店舗一覧 |
| 1716 | 享保～昭和39年 | | 茜屋・島田家・島田藤吉 |
| | | | 芥川寿 |
| 1822 | 文政5～大正14 | | 鴨下荘左衛門(京和貯蓄銀行・醤油醸造)経歴(1) |
| 1926 | 昭和1～28年 | | 鴨下荘左衛門(京和貯蓄銀行・醤油醸造)経歴(2) |
| 1854 | 安政1～昭和16年 | | 浅田右甚衛門 |
| 1867 | 幕末～昭和61年 | | 医師渋谷貞安・安益・安斎・安義・安正経歴 |
| 1868 | 明治元～大正9年 | | 磯村貞吉(三田育種場主)経歴、『新潟県人会報』記事 |
| 1913 | 大正2年 | | 井田五郎(実業家)経歴 |
| 1912 | 大正期 | | 岩村武俊(海軍中将)邸図(聞き取り) |
| 1890 | 明治23～43年 | | 大井包高・大井秀子 |
| 1880 | 明治13～32年 | | 大久保常吉(善左衛門)略歴・著作 |
| 1918 | 大正7年～ | | 金井四郎(町職員)経歴 |
| 1869 | 明治2～27年 | | 鴨下八五郎 |
| 1877 | 明治10～昭和18年 | | 煙火師・渋谷瀬十郎略年賦 |
| 1930 | 昭和5年 | | 郊外土地建物と小川重行 |
| 1926 | 戦前期～ | | 小金井在住・関係芸術家一覧(33人) |
| 1908 | 明治41～昭和29年 | | 国民練成所関係者資料・名刺等 |
| 1948 | 昭和23年～ | | 作家、大岡昇平と小金井年賦 |
| 1934 | 昭和9年 | | 三光院・全生庵・山岡鉄舟・西野奈良栄 |
| 1877 | 明治10年 | 人物 | 渋谷安斎(正信)須賀川医学校教授、(後藤新平医学生) |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会名簿にみる在住軍人名と経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:井上鋼太郎(実業家)・万寿蔵・省三経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:倉田三郎(画家)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:横山登志丸(農水省官吏)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:木村百木(画家)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:小坂 平(陸軍中将)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:茶郷 基(明星学園創設者)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:築地 整(築地写真館主)経歴 |
| | | | 昭午会会員:石川龍雄経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:大森すみ子(歌人)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:音羽 守(鉄道省技師・千秋会会員)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:笹本 寅(編集者・作家)経歴 |
| 1934 | 昭和9年 | | 昭午会会員:前田善次(済州島共済会・町会議員)経歴 |
| | 近世～昭和31年 | | 鈴木三郎右衛門(貫井囃子・花火職人) |
| 1916 | 大正2～昭和38年 | | 鈴木新助(醤油問屋・親和会・別荘)醤油 |
| 1876 | 明治9年～ | | 鈴木長三郎(第1回内国勸業博覧会出品・小金井亭経営) |
| 1946 | 昭和21～30年 | | 竹中太郎と全日本青年産業農場 |
| 1937 | 昭和12年 | | 土田耕平(歌人・童話作家) |
| 1940 | 昭和15年～ | | 永田寿美と小金井聖公会 |
| 1932 | 昭和7～21年 | | 永田鉄山妻・立川鵬翼工作部隊小金井分隊 |
| 1878 | 明治10～20年代 | | 西森武城(民権運動・貫井分教場訓導) |
| 1932 | 昭和7年～ | | 橋本平五・谷合七五郎 |
| 1947 | 昭和22年 | | 早胡桃会員:竹岡鶴代(ソプラノ歌手) |
| 1947 | 昭和22年 | | 早胡桃会員:星野すみれ(ピアニスト) |
| 1867 | 幕末～明治38年 | | 星野弥太郎・星野廣三郎略歴 |

| | | | |
|------|------------|------|----------------------------|
| 1912 | 大正期 | | 村田命穆(南洋興発(株)取締役) |
| 1912 | 大正期 | | 望月軍四郎(実業家)経歴 |
| 1938 | 昭和13~48年 | | 本木梅太郎(頌徳碑建立・彫刻家尾形喜代治) |
| 1872 | 明治5年~ | | 渡辺初男(実業家)経歴・別荘(浴恩館以前) |
| 1867 | 幕末~昭和 | | 七軒家の人々(本木氏) |
| 1867 | 幕末~昭和 | | 七軒家の人々(大久保民蔵・安太郎) |
| 1867 | 幕末~昭和 | 人物 | 七軒家の人々(鴨下弥左衛門・幸太郎) |
| 1867 | 幕末~昭和 | | 七軒家の人々(本木治郎右衛門・吟蔵) |
| 1867 | 幕末~ | | 刀工金井斧三郎(信重)経歴 |
| 1916 | 大正5~昭和28年 | | 国分友海 |
| 1932 | 昭和7年~ | | 松川長雄・静・善次郎(昭午会) |
| 1869 | 明治2~大正6年 | 水利 | 築樋修理費関係 |
| 1868 | 近世~ | 石碑 | 石工調査(34件) |
| 1920 | 大正10年~昭和2年 | 多磨霊園 | 多磨墓地 |
| 1930 | 昭和5~33年 | | 昭午会(親和会)、親和会館(町民会館) |
| 1895 | 明治28~大正4年 | | 小金井村青年報国会役員一覧 |
| 1897 | 明治30年 | | 青年報国会電害義捐金内訳 |
| 1928 | 昭和3年~ | 団体 | 千秋会小金井支部(菊花趣味団体) |
| 1947 | 昭和22~27年 | | 早胡桃会会報から |
| 1897 | 明治30年 | | 村青年報国会員電害義金一覧 |
| 1901 | 明治34~昭和20 | | 婦人会(愛国婦人会・大日本国防婦人会・大日本婦人会) |
| 1869 | 明治2~43年 | | 亀久保田圃 |
| | 宝永5~昭和51年 | 地籍 | 是政新田・本間耕曹資料 |
| | 享保12~昭和28年 | | 拾ヶ新田 地図 |
| 1939 | 昭和14年 | | 昭和14年南関野部落費 |
| 1930 | 昭和5~13年 | 町会 | 貫井北組協議費一覧(大沢喜久雄家文書) |
| 1941 | 昭和16年 | | 西之台自治会史より戦中の町会任務 |
| 1937 | 昭和12年 | 町制施行 | 町制施行祝賀会内容 |
| 1876 | 明治9年~ | | 関野新田戸口調査 |
| 1893 | 明治26年 | 統計 | 備荒儲蓄救助関係一覧表 |
| 1888 | 明治21年 | | 明治21年度統計・玉川上水賦課金・教育費予算等 |
| 1889 | 明治22年 | | 明治22年統計(面積・税金・水車・作付け等) |
| 1927 | 昭和2年 | 道路 | 府県道81号線(停車場~坂上交差点) |
| 1917 | 大正6年 | | 大沢百太郎(村長)頌徳碑 |
| 1963 | 昭和38年 | 碑文 | 神明宮拝殿建設記念碑 |
| 1939 | 昭和14年 | | 本木梅太郎(頌徳碑建立関係者)一覧 |
| | 明治~昭和 | | 島田(良一)家文書目録作成 |
| | 明治・大正・昭和 | 文書整理 | 星野(雅信)家文書目録整理 |
| | 昭和 | | 大沢喜久雄家文書整理 |
| 1927 | 昭和2年~ | 町並 | 軍人町(本町5)推定図(聞き取り) |

第5期市史編さん委員名簿

| 区分 | 氏名 | 任期 | 職名等 |
|----|-------|---------------------|----------|
| 1号 | 根岸茂夫 | 令和元年8月20日～令和4年8月19日 | 國学院大學教授 |
| 1号 | 牛米 努 | 令和元年8月20日～令和4年8月19日 | 明治大学兼任講師 |
| 1号 | 中嶋久人 | 令和元年8月20日～令和4年8月19日 | 早稲田大学講師 |
| 2号 | 日高 慎 | 令和元年8月20日～令和4年8月19日 | 大学教授 |
| 2号 | 井上恵美子 | 令和元年8月20日～令和4年8月19日 | 大学教授 |
| 3号 | 住野英進 | 令和元年8月20日～令和4年8月19日 | 市職員（副市長） |
| 3号 | 大熊雅士 | 令和元年8月20日～令和4年8月19日 | 市職員（教育長） |

令和2年度開催予定

第2回 令和2年10月12日（月）午後2時～

第3回 令和3年 2月 1日（月）午後2時～

会場:市役所第2庁舎8階801会議室

小金井市史編さん委員会条例 (昭和36年3月30日条例第15号)

最終改正:平成19年3月20日条例第7号

改正内容:平成19年3月20日条例第7号 [平成26年1月1日]

○小金井市史編さん委員会条例

昭和36年3月30日条例第15号

改正

平成12年12月22日条例第56号

平成19年3月20日条例第7号

小金井市史編さん委員会条例

(目的)

第1条 本市は、市民の郷土に対する知識及び理解を深め市勢の発展に資するため、市史編さんを目的として、小金井市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために必要な事項を調査、審議し、計画を確立してその実現をはかる。

(組織)

第3条 委員会の委員は、8人以内で構成し、次に掲げる者について、市長が委嘱又は任命する。

(1) 学識経験者 3人以内

(2) 一般市民 3人以内

(3) 市職員 2人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、学識経験を有する者及び一般市民の中から委嘱された者にあつては3年とする。ただし、後任者が委嘱されるまでの間は、その職務を行うことを妨げない。

(委員長)

第5条 委員会は、互選により委員長及び副委員長を選任する。

2 委員長は、委員会を代表しその職務を統括する。

3 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を行う。

(会議)

第6条 委員会は、必要に応じて開催し、委員長がこれを招集する。

第7条 委員長は、委員会の議長となり議事を運営する。

第8条 委員会の議事は、委員の半数以上の出席により成立し、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(報酬及び費用弁償)

第9条 委員は、報酬及び公務により出張したときは費用弁償として旅費を受けることができる。

2 前項の報酬及び費用弁償の額並びに支給方法については、別に定める。

(編集委員等)

第10条 委員会は、専門的な事項を調査、研究させるため、編集委員等を置くことができる。

(委員会事務局)

第11条 市史編さんに関する庶務を処理するため、教育委員会生涯学習部に委員会事務局を置く。

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、別に定める。

付 則

(施行期日)

この条例は、昭和36年4月1日から施行する。

付 則 (平成12年12月22日条例第56号)

この条例は、平成13年4月5日から施行する。

付 則 (平成19年3月20日条例第7号)

(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

(特別職の給与に関する条例の一部改正)

2 特別職の給与に関する条例（昭和31年条例第22号）の一部を次のように改正する。

別表第3中「市誌編さん委員会」を「市史編さん委員会」に改める。

小 金 井 市 史 編 さ ん 大 綱

平成25年11月20日改定

1 経 過

小金井市は、市制施行10周年記念事業として昭和42～45年度に『小金井市誌Ⅰ～Ⅲ』（地理編・歴史編・資料編）3冊を刊行した。その後も市誌編事業を継続し、昭和30年代に『年表編Ⅳ』・『地名編Ⅴ』、昭和53年の市制20周年に『今昔ばなし編Ⅵ』を刊行した。小金井市が都市化によって急激に変貌するこの時期を捉えて実施された市誌編さん事業の意義は大きい。

市誌編さん委員会はさらに補完的な事業を継続し、昭和59年に『小金井市誌』の増補改訂版の必要性を市長に提言、平成10年には、市制50周年記念事業の一環として新たな『小金井市史』を編さんすべきものとして「小金井市史編さん大綱」を策定し、付帯意見を付して市長に建議した。

平成19年3月、「小金井市誌編さん委員会条例」の一部を改正し、「市誌」を「市史」に改め、「小金井市史編さん委員会条例」とした。

以上の経過により、平成20年度の市制50周年を期して『小金井市史』の編さんに着手するものである。

2 趣 旨

本市の歴史を系統的に叙述し、以って市民の郷土に対する理解と愛情を深めるとともに先人の遺した貴重な文化遺産を後世に伝えることを基本目標とする。

- 1) 小金井市の原始・古代から現代に至る歴史的発展過程を学術的に明らかにすることにより、市民の郷土の歴史と文化に対する正しい理解を深める。
- 2) 小金井市の過去・現在をふりかえり、将来を展望し、地域への愛着を深めるとともに、地域づくりのための基礎資料とする。
- 3) 生涯学習社会の流れの中で、地域の歴史を自ら学ぼうとする要求が高まっており、市民の広範な知的ニーズに応えるものとする。
- 4) 市民と協働で創りあげる市史とし、市史編さん事業を通じて自ら学ぶ市民を育てる。
- 5) 小金井の次代を担う世代の郷土教育に役立つ基礎資料とする。
- 6) 市史編さんの過程で収集された資料等を市民共有の財産として、散逸させることなく保存するとともに、情報を公開し、広く一般の利用に供する。

3 小金井市史編さんの基本方針

既刊の『小金井市誌』を基礎としながらも、批判的に継承し、問題点を整理し、新たな視点で『小金井市史』の編さんを行う。

- 1) 小金井市制施行50周年を期して取り組む事業とする。
- 2) 現在の小金井市地域を主な対象とするが、近隣地域及び我が国の歴史の流れ(通史)の中において、本市の歴史を総合的かつ系統的に位置づける。
- 3) 特に既刊の『小金井市誌』では十分に触れることができなかった近代及び現代分野の充実を図る。
- 4) 市史編さんの基礎資料となる資料編の充実を図る。
- 5) 通史の叙述は、今日の学問的評価に耐えうる水準を保ちながらも、できるだけ平易な表現で記述し、市民に親しまれ、長く活用されるものとする。

4 小金井市史の構成

市史は通史編及び資料編等により構成する。

- 1) 時代区分は、概ね下記のとおりとする。

原始：旧石器時代・縄文時代・弥生時代

古代：古墳時代・奈良時代・平安時代

中世：鎌倉時代・南北朝時代・室町時代

近世：安土桃山時代・江戸時代

近代：明治維新～昭和12年(町制施行)

現代：昭和12年～平成12年(2000年)前後

- 2) 市史の構成は、概ね下記のとおりとする。

通史編 1巻

資料編 5巻

① 考古資料編 (旧石器時代～江戸時代までの資料)

② 近世資料編 (江戸時代の史・資料)

③ 近代資料編 (明治維新时期から町制施行までの史・資料)

④ 現代資料編 (町制施行から平成12年前後までの史・資料)

⑤ 小金井桜編 (近世～近代の小金井の桜に関する史・資料)

5 小金井市史編さん体制

- 1) 小金井市史編さん委員会

市史編さん事業の基本方針を審議する機関。

- ① 学識経験者 3人

- ② 一般市民 3人
- ③ 市職員 3人

2) 専門部会

部会に部会長（編集委員）、調査員、調査協力員等を置く。

- ① 考古部会
- ② 近世部会
- ③ 近代部会
- ④ 現代部会

3) 事務局

教育委員会生涯学習部生涯学習課文化財係に置く。

市史編さん担当課長：生涯学習課長兼務

市史編さん係：文化財係長・文化財担当職員兼務

市史編さん担当非常勤嘱託職員：3名

4) 市史編さん室の設置

編集事務、編集会議、編さん作業、資料の保管場所として一定の広さの部屋が必要。場所については検討課題。

5) 市民参加・協力体制

資料調査や聞き取り調査等に、市民グループ（小金井史談会・古文書の会等）の積極的な参加を求める。

6 年次計画（別紙）

- 1) 本格的事業は市制施行50周年を期し、平成22年度から開始し、事業の終了は概ね平成30年度市制施行を目途とする。
- 2) 市制施行50周年にあたる平成20年度には、編さん事業の開始を記念し、『小金井市史 資料編 小金井桜』を発行する。
- 3) 資料収集が進んでいる近代資料編から着手し、現代資料編、近世資料編、考古資料編の順に編さんを行い、平成30年度に通史編を刊行する。

小金井市史編さん年次計画

| | H22 | H23 | H24 | H25 55周年 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 60周年 |
|--------------------|-----|-----|-----|-------------|-----|-------|-------|-----|-------------|
| 市史編さん委員会 | | | | | | | | | |
| | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 |
| 考古部会(編集委員・調査員) | | | | | | | | | 資料編刊行 |
| 近世部会活動(編集委員1名・調査員) | | | | | | | 資料編刊行 | | |
| 近代部会(編集委員1名・調査員) | | | | 資料編刊行 | | | | | |
| 現代部会(編集委員1名・調査員) | | | | | | 資料編刊行 | | | |
| 通史編編集・執筆(全部会共通) | | | | | | | | | 通史編刊行 |
| 市史編纂資料集刊行 | 50編 | 51編 | 52編 | 53編 | 54編 | 55編 | 56編 | 57編 | 58編 |

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 非常勤嘱託職員(文化財センター兼務3名) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 市民協力員 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

※平成28年度市史編さん委員会の意見により、市民協力員の委嘱延伸

東京の文化財



徳富蘆花旧宅（蘆花恒春園）

目次

| | |
|-----------------------------|-----|
| 東京文化財ウィーク 2019 が始まります！ | 1～3 |
| 東京9区文化財古民家めぐりのあゆみ | 4～5 |
| 「文化財を活かす」 | 6～7 |
| 東京都立埋蔵文化財調査センター企画展「ひと×いきもの」 | 8 |

東京文化財ウィーク 2019 が始まります！

東京文化財ウィークとは？

東京都教育庁では、毎年10月、11月の文化の秋に、都内の文化財により親しんでいただくことを目的として「東京文化財ウィーク」を開催しています。

その期間には都内各地で集中的に文化イベントが開催され、10月26日（土）から11月4日（月）までの期間には、通常公開していない文化財の多くも公開されます。今年の秋は、東京の歴史を訪れてみませんか。

新規参加の文化財

今年度から新しく東京文化財ウィークに参加することになった文化財の一部を紹介します。



【旧中村研一邸】（小金井市）

洋画家中村研一の旧宅です。吹き抜けのある居間を中心とした開放感のある建築で、多摩川から湧き出した水を利用した庭園の中には茶室（花侵庵）もあります。敷地内には小金井市立はげの森美術館が併設されています。



【洗足池公園】（大田区）

豊かな水をたたえる洗足池とその周囲の樹林が見事な景勝地で、江戸時代の紀行文にも多く登場します。明治以降は勝海舟の別邸が建てられたゆかりのある地で、9月にオープンした大田区立勝海舟記念館も話題になっています。

特別企画

【旧前田家本邸での催し】

・駒場ガイドの会 特別ガイド

旧前田家の建物としての魅力と加賀百万石で知られる前田侯爵家の歴史をボランティアガイドがご案内します。

・蓄音器聴き比べ

～前田家が聴いた時代の音～
金沢蓄音器館館長のお話も交えて、時空を超えた音の世界に浸っていただきます。

【視覚・聴覚障害者社会教養講座】

今年も文化財に関連した視覚・聴覚障害者社会教養講座を開催します。

・視覚障害者社会教養講座

勾玉づくり体験と触れて学ぶ縄文時代の生活

・聴覚障害者社会教養講座

東京都埋蔵文化財センターで縄文に触れる～遺跡庭園「縄文の村」見学と勾玉づくり体験で縄文時代を感じよう～

各イベントについて、具体的な内容や会場へのアクセス等、より詳しくは、「東京文化財ウィーク2019ガイドブック特別公開・企画事業編」を御覧ください。



【旧前田家本邸（洋館）】

〇見学に当たってのお願い！

文化財は私たちの大切な宝物であり、後世に受け継いでいくべき財産です。文化財を見学するときはマナーを守って御鑑賞ください。

撮影禁止の場所もありますので、現地の指示や、ガイドブックに従ってください（ガイドブックには現地の施設情報も載っています）。

～国登録有形文化財(建造物)～

旧中村研一邸主屋

Main Building of Nakamura Kenichi House

(指定：平31.3.29)

武蔵野の「はけ(段丘崖線)」の南斜面は湧き水に恵まれた地域で、それを利用した庭園と邸宅が多く造られました。洋画家・中村研一(1895-1967)の旧宅もその一つです。

中村は、帝展や日展等で活躍した近代洋画壇の重鎮で、昭和20年(1945)の東京大空襲で代々木初台のアトリエを焼失し、小金井のこの地に転居しました。「はけ」のある敷地に庭園を整え、その一部に石垣を築き、見晴らしの良い場所に主屋を建てました。主屋の基礎はRCラーメン構造で、その上に木造2階建ての山荘風の建築を載せます。内部は、客間兼居間と食堂が一緒となった広い吹抜けがあり、洋風の暖炉と、障子など伝統的な和風意匠を現代的に用いた、明るく開放的な空間となっています。建物の設計は、住友家俣野別邸等を手掛けた佐藤秀三で、当時の文化人の生活が伺える例として貴重です。

中村は終生この地で作品を描き続け、没後は遺族により記念美術館が設立されました。現在は「小金井市立はけの森美術館」として一般に公開されています。



■写真提供：小金井市

- 所在地／小金井市中町1-11-3 美術の森緑地内
- 交通／JR中央線「武蔵小金井」駅下車徒歩約15分又は「武蔵小金井」駅からCoCoバスミニ「はけの森美術館」下車徒歩1分